



南国市長
小笠原喜郎

将来のために

足腰の強い南国市を

あけましておめでとうございませす。ご建勝で、なごやかなお正月をお迎えになったことと拝察いた

します。今年もあいかかわらず市政へのご協力をお願いします。市政発足後二十年をすぎた今日、

一日も早く足腰の強い自治体成長するのが当面の目標ですが、なお、多くの努力をかたむけなければならぬ状態にあります。五十五年は八十年代の始まりとして、世界中の人々が平和と豊かさを願ったにもかかわらず、政治経済が動揺、硝煙の匂いすら今だに絶えない状況にあります。私どもの日常生活が、これらの世界事情や国の政策に身近に関わりあっていることは、もはや常識となつています。このような事態に、市の行政がいかに対応するかを絶えず模索する努力を怠ることは出来ないと感じています。

市政の柱としてきた財政再建、空港の整備・拡張、同和対策の推進などいずれもいまだ途上にあり、その他にも多くのプロジェクトがめじろおしに並んでいます。比江の公有地処分はようやく終り、新しい工場団地を迎える作業が進み、隣接の造成にもかかつています。さらにこの近くに歴史民族資料館の建設を計画して関係方面との折衝を始めています。空港は、昨年十月に起工式があげられましたが、多くの付随する未処理の問題が残されています。完成するまでには、なお、うよ曲折が予想されますので、国、県、

市が連絡を密にして、市民が不利益をこうむらないよう配慮することが肝要です。同和対策は特別措置法の期限切れの大切な年で、重大な局面を迎えますが、基本的な方針を忠実に守り、万全の努力を続けなければなりません。全市の課題の近代的な処理施設も、今年メドをつけなければなりません。また、市の将来の発展を期するためには長期的な見通しを立てる事が必要です。企画と研究、調査や情報の収集を行い、たいと思っています。市民のみなさんご指導とごべんたつをお願いします。



南国市議会議長
島内正雄

恵まれた立地条件、

市政発展に限りない希望

市民の皆さん、あけましておめでとうございませす。よいお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。火は今年に入っても治まる気配は

今年も引続き平和な年でありますが、昨年中東で勃発した戦も看過し難いところでもあります。しかし、このような国際間の緊張をよそに、私たち南国市民は静かで平和な新年を迎えることができ、まことに幸せと存じます。どうか今年も引続き平和な年でありますように……。

さて、本市積年の課題となつております、財政問題、空港問題、同和問題は、いずれも市民皆さま方のご協力により、着実に前進しつつあり、議会といたしましては今年も引続き強力に取り組んでまいる所存でございます。

その他皆さんのご関心の深い、建設部門、教育部門、各般にわたる行政部門につきましても、皆さん方のご意見を聴しながら、ご期待に沿うよう努力を重ねてゆく覚悟でございますので、何とぞご協力の程お願い申し上げます。また、国の事業では計画が進められていて、空港整備事業、四国横断高速自動車道、東バイパスなど、工事次第に本格化しつつありますが、これらの事業は本市発展の基盤づくりに寄与するものであり、いずれも本市に集中しておりますことは、本県における南国市の中心的役割が確実に立証され

たもので、人口の漸増と併せて市政発展に限りない希望をいだく次第であります。私たち議会は、市民の福祉向上のため活動する機関でありますので、本市の恵まれた立地条件を生かし、英知を傾注して住みよい南国市づくりのため真剣に取り組む決意でございます。どうか一層のご協力をお願いいたしますと共に、併せてご一家、ご一同さまのご多幸を衷心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。